

農林業センサス結果から見た

和歌山県における女性農業者の現状と 女性が経営参画している農業経営体の特徴

令和7年1月

近畿農政局和歌山県拠点

目 次

項 目	ページ番号
－ はじめに －	3
女性世帯員の動向	4
女性農業従事者数の動向	6
女性基幹的農業従事者数の動向	7
女性経営主の現状	10
女性経営方針決定参画者の現状	12
女性経営参画経営体の特徴	14
農業における女性活躍に関する意識・意向調査結果	20
農業と暮らし方カイゼンワークシート	29
－ おわりに －	30

－ はじめに －

女性農業者は地域農業の重要な担い手であり、今後の農業の発展や地域経済の活性化のためには、生産・販売の現場で大きな役割を果たしている女性農業者の活躍が重要となっています。

そこで、2020年農林業センサス結果（個人経営体）から見た和歌山県における女性農業者の現状と女性が経営参画している農業経営体の特徴を明らかにし、農業における女性活躍の更なる推進に寄与できればと考えます。

個人経営体

農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭羽数が、次の規定のいずれかに該当する事業を行う農業経営体のうち、個人（世帯）で事業を行う経営体をいう。なお、法人化して事業を行う経営体は含まない。

- (1) 経営耕地面積が30 a 以上の規模の農業
- (2) 農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数、その他の事業の規模が次の農林業経営体の基準以上の農業
 - ①露地野菜作付面積15 a
 - ②施設野菜栽培面積350㎡
 - ③果樹栽培面積10 a
 - ④露地花き栽培面積10 a
 - ⑤施設花き栽培面積250㎡
 - ⑥搾乳牛飼養頭数 1 頭
 - ⑦肥育牛飼養頭数 1 頭
 - ⑧豚飼養頭数15頭
 - ⑨採卵鶏飼養羽数150羽
 - ⑩ブロイラー年間出荷羽数1,000羽
 - ⑪その他 調査期日前 1 年間における農業生産物の総販売額50万円に相当する事業の規模
- (3) 農作業の受託の事業

女性世帯員の動向（１）

－ 経営体数の減少により５年前に比べ大幅に減少 －

- 2020年の個人経営体における女性世帯員数は28,532人で、経営体数の減少等により５年前に比べ8,746人（23.5%）減少。
- 全ての年齢階層で５年前に比べ減少。

図１ 個人経営体数及び世帯員数の推移
（個人経営体、和歌山県）

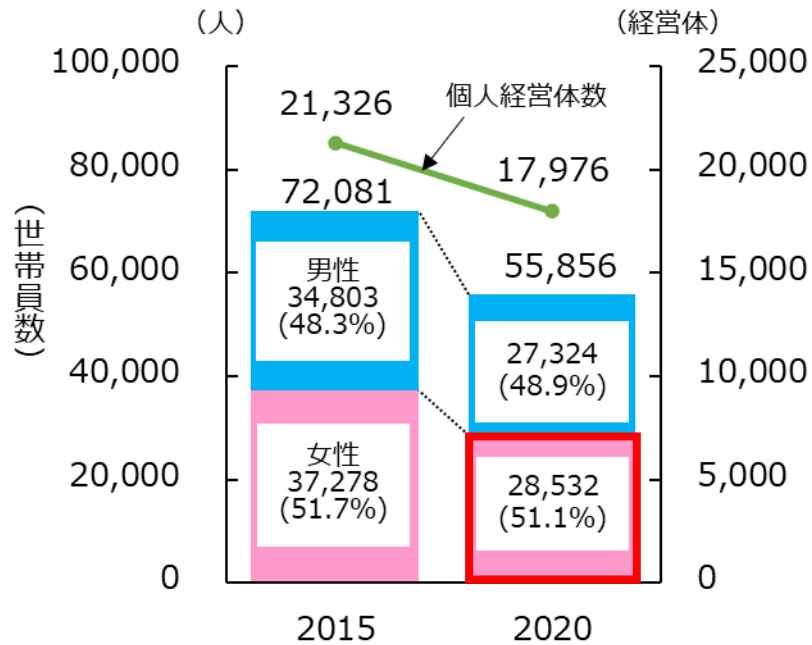
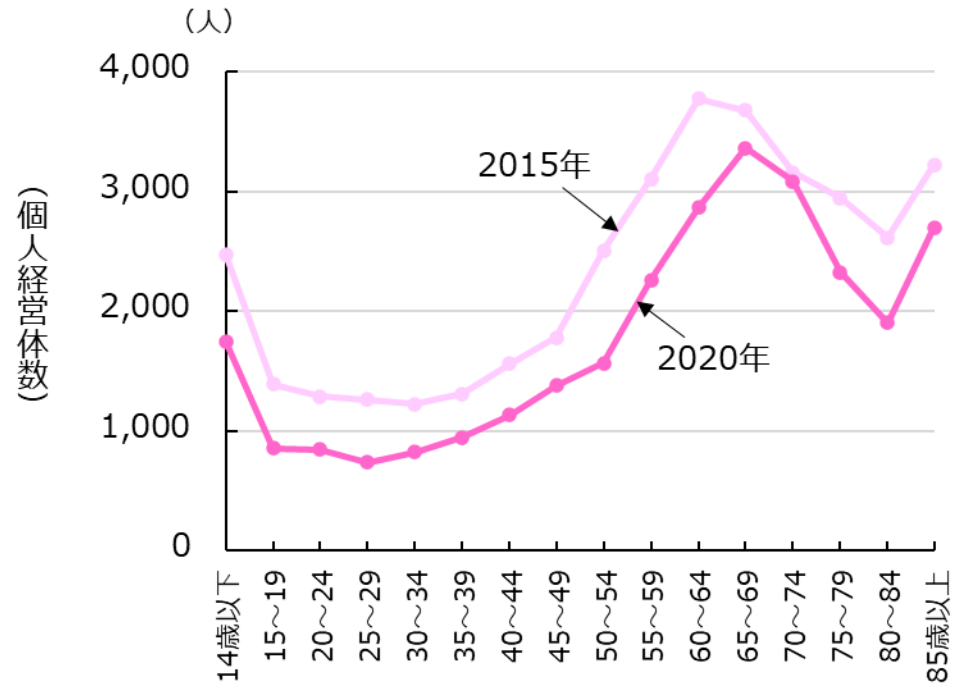


図２ 年齢階層別女性世帯員数の推移
（個人経営体、和歌山県）



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」（以下、同じ。）

女性世帯員の動向（２）

－ ふだん主に仕事として自営農業に従事している女性の割合は全国第６位 －

- 女性世帯員の１年間の生活の主な状態をみると、「自営農業が主」の割合は45%。

図３ １年間の生活の主な状態別女性世帯員数の割合
(2020年、個人経営体、全国・和歌山県)

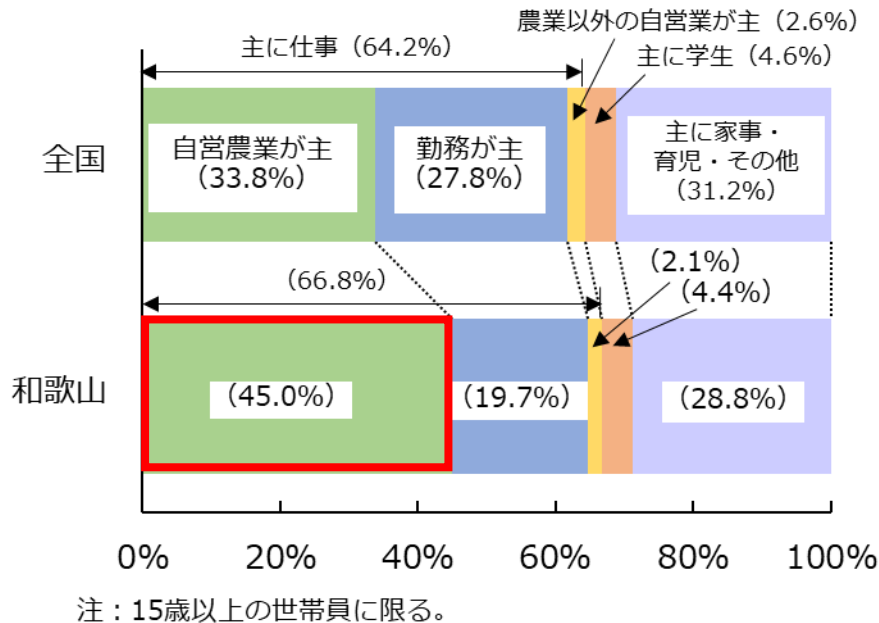


表１ １年間の生活の主な状態が「自営農業が主」の
女性世帯員数の割合上位10都道府県
(2020年、個人経営体)

順位	都道府県	女性世帯員数計(人)	うち、自営農業が主(人)	自営農業が主の割合(%)
	全国	1,599,086	540,894	33.8
1	北海道	47,035	30,220	64.3
2	宮崎	26,566	13,166	49.6
3	高知	16,712	8,124	48.6
4	鹿児島	30,478	14,447	47.4
5	青森	45,718	21,507	47.0
6	和歌山	26,786	12,052	45.0
7	山梨	20,148	8,770	43.5
8	熊本	51,544	21,383	41.5
9	愛知	44,514	17,927	40.3
10	愛媛	28,301	11,355	40.1

資料：農林水産省統計部「農林業センサス」（以下、同じ。）
注：15歳以上の世帯員に限る。

女性の農業従事者数の動向

— 大幅に減少も、女性の割合は全国第1位 —

- 2020年の女性の農業従事者数は19,681人で、5年前に比べ5,334人（21.3%）減少。
- 農業従事者数に占める女性の割合は47.1%。

図4-1 農業従事者数の推移（個人経営体、全国）

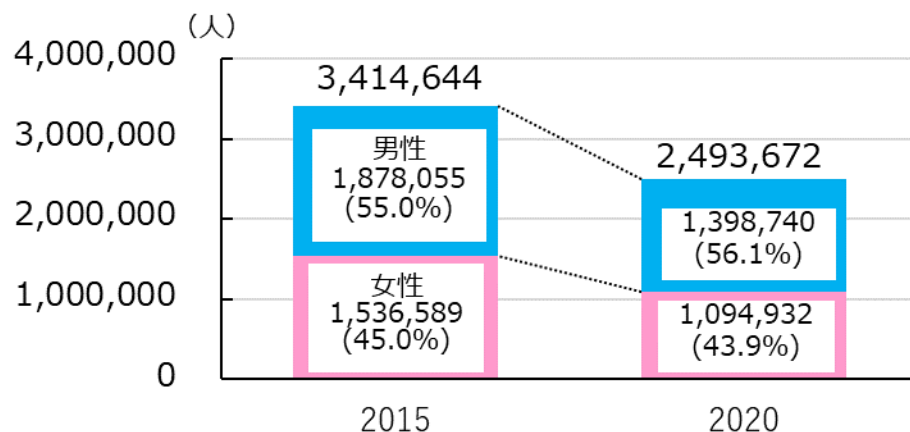


図4-2 農業従事者数の推移（個人経営体、和歌山県）

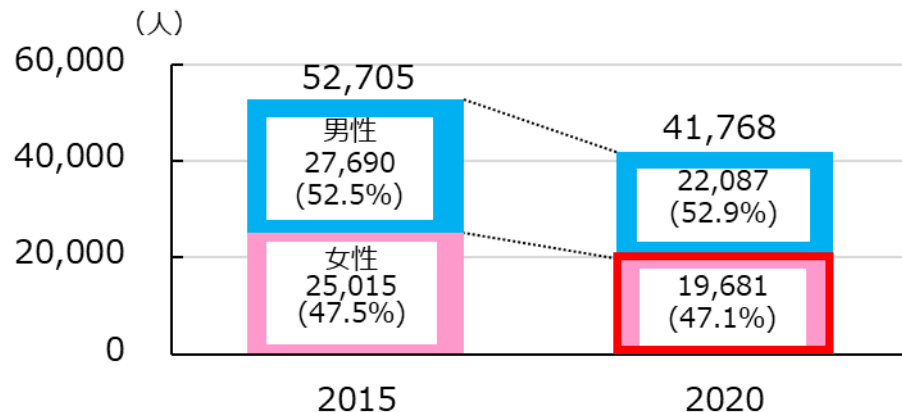


表2 農業従事者数に占める女性の割合上位5都道府県（2020年、個人経営体）

順位	都道府県	男女計 (人)	うち、女性 (人)	女性の占める割合 (%)
	全国	2,493,672	1,094,932	43.9
1	和歌山	41,768	19,681	47.1
2	愛知	66,459	30,730	46.2
3	青森	72,618	33,421	46.0
4	山口	32,715	15,045	46.0
5	山梨	33,076	15,185	45.9

用語の解説

農業従事者：15歳以上の世帯員のうち、調査期日前1年間に自営農業に従事した者をいう。

女性の基幹的農業従事者数の動向（１）

－ 大幅に減少も、女性の占める割合は全国第３位 －

- 2020年の女性の基幹的農業従事者数は12,052人で、5年前に比べ3,327人（21.6%）減少。
- 基幹的農業従事者数に占める女性の割合は44.3%で、5年前に比べ1.9ポイント低下。

図５－１ 基幹的農業従事者数の推移
（個人経営体、全国）

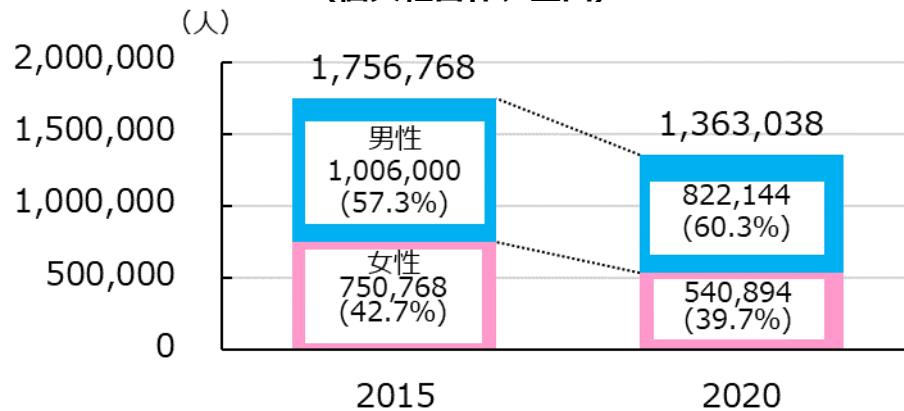


図５－２ 基幹的農業従事者数の推移
（個人経営体、和歌山県）

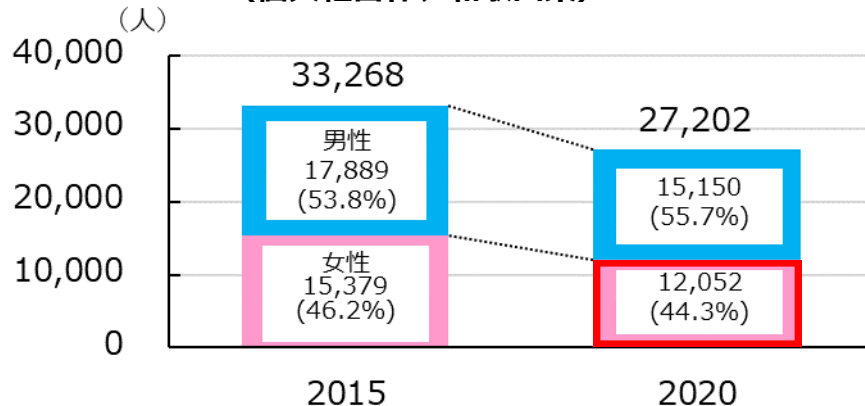


表３ 基幹的農業従事者数に占める女性の割合上位5都道府県
（2020年、個人経営体）

順位	都道府県	男女計 (人)	うち、 女性 (人)	女性の 占める 割合 (%)
	全国	1,363,038	540,894	39.7
1	青森	48,083	21,507	44.7
2	愛知	40,159	17,927	44.6
3	和歌山	27,202	12,052	44.3
4	岩手	44,458	19,203	43.2
5	山梨	20,500	8,770	42.8

用語の解説

基幹的農業従事者：15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。

女性の基幹的農業従事者数の動向（２）

－ 65歳未満の割合は全国に比べ高い －

- 女性の基幹的農業従事者数を年齢階層別にみると、「85歳以上」を除く全ての階層で減少。
- 65歳未満の割合は35.9%で、全国に比べ5.9ポイント高い。

図6 年齢階層別女性基幹的農業従事者数の推移
（個人経営体、和歌山県）

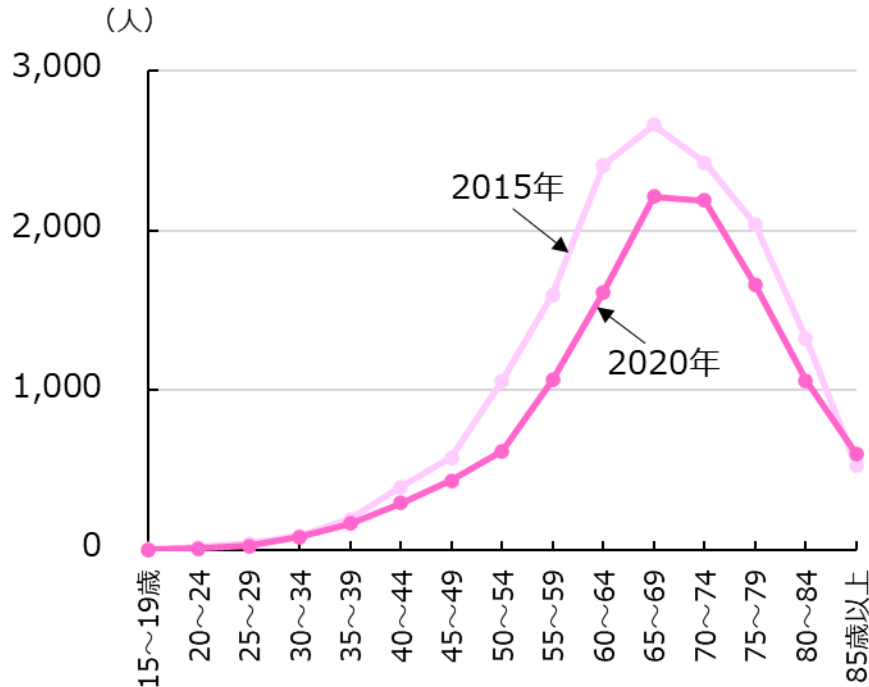
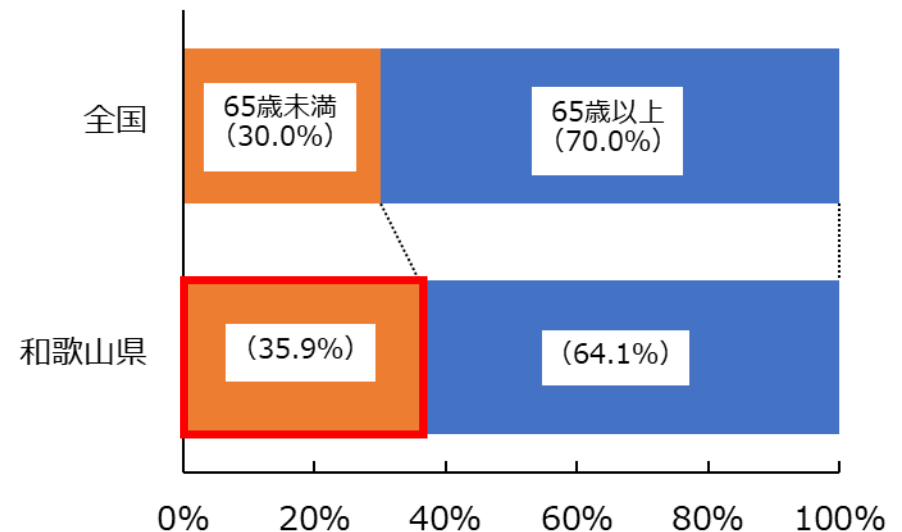


図7 年齢階層別女性基幹的農業従事者数の割合
（2020年、個人経営体、全国・和歌山県）

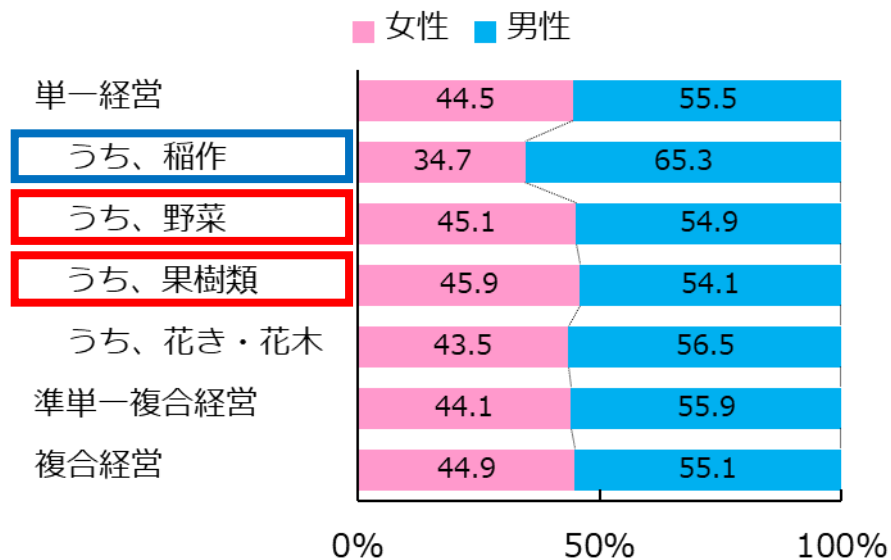


女性の基幹的農業従事者数の動向（３）

－ 和歌山県はどの農業経営組織区分においても女性の割合が高い －

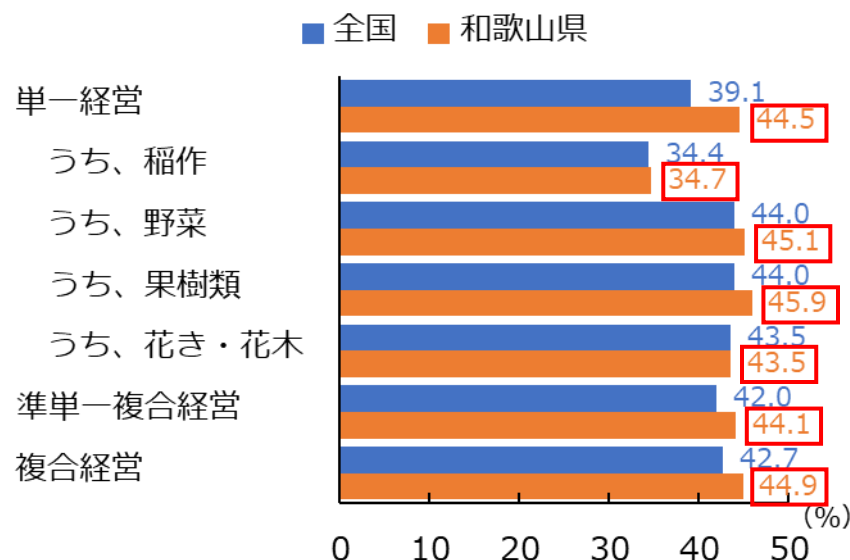
- 女性の基幹的農業従事者数の割合を農業経営組織別にみると、単一経営（果樹類、野菜）が他に比べ高く、単一経営（稲作）は低い。
- 全国に比べ、どの農業経営組織区分においても女性の基幹的農業従事者数の割合が高い。

図８ 農業経営組織別男女別基幹的農業従事者数の割合
（2020年、個人経営体、和歌山県）



注：「販売なし」の経営体を除く。

図９ 農業経営組織別基幹的農業従事者数に占める女性の割合
（2020年、個人経営体、全国・和歌山県）



注：「販売なし」の経営体を除く。

用語の解説

単一経営：農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が8割以上の経営体をいう。

準単一複合経営：農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が6割以上8割未満の経営体をいう。

複合経営：農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が6割未満（販売のなかった経営体を除く）の経営体をいう。

女性経営主の現状（１）

－ 女性経営主の割合は全国第４位 －

- 2020年の女性が経営主の個人経営体数は1,637経営体で、個人経営体数に占める割合は9.1%。
- 女性経営主経営体数の割合を年齢階層別にみると、全国に比べ65歳以上の割合が高い。

図10 男女別経営主別農業経営体数
(2020年、個人経営体、全国・和歌山県)

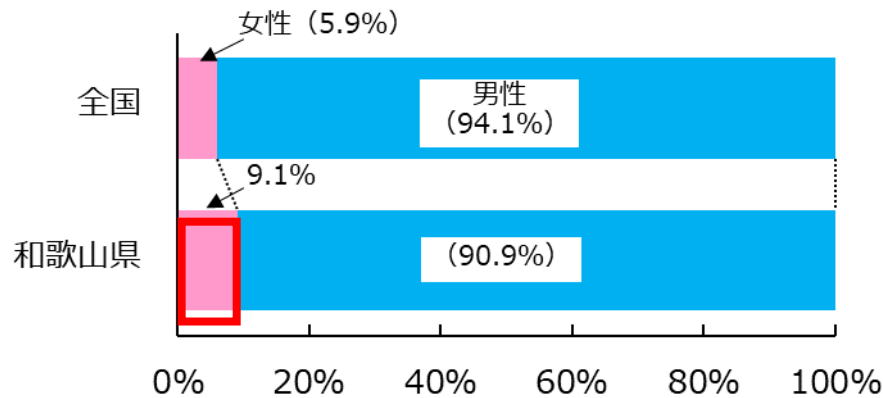


図11 女性経営主年齢階層別農業経営体数の割合
(2020年、個人経営体、全国・和歌山県)

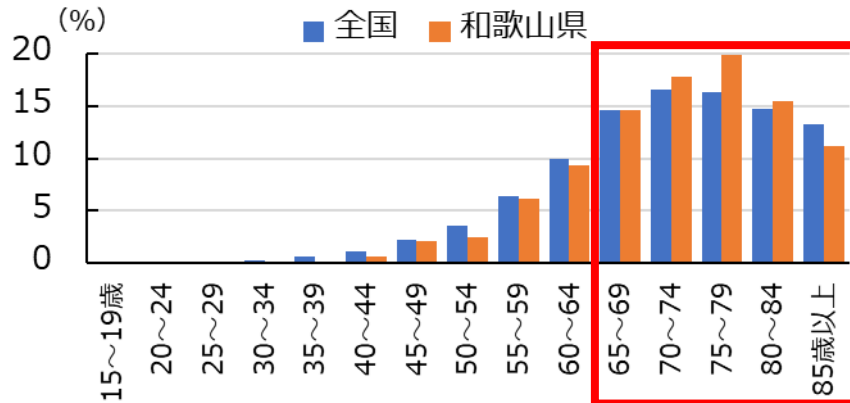


表4 農業経営体数に占める女性経営主経営体数の割合
上位5都道府県（2020年、個人経営体）

順位	都道府県	個人 経営体数計 (経営体)	うち、 女性経営主 経営体数 (経営体)	女性経営主 経営体数の 占める割合 (%)
	全国	1,037,342	61,283	5.9
1	山口	15,346	1,655	10.8
2	東京	5,041	541	10.7
3	山梨	14,686	1,344	9.2
4	和歌山	17,976	1,637	9.1
5	広島	21,491	1,941	9.0

用語の解説

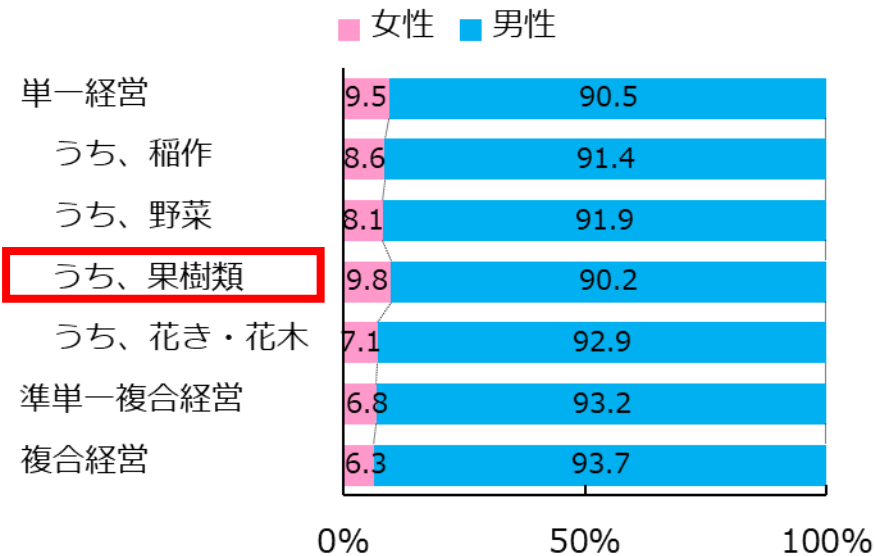
経営主：農業経営の管理運営の中心となっている者をいい、生産品目や規模、請け負う農作業の決定、具体的な作業時期や作業体制、労働や資本の投入、資金調達といった経営全般を主宰する者をいう。

女性経営主の現状（２）

－ 和歌山県はどの農業経営組織区分においても女性経営主の割合が高い －

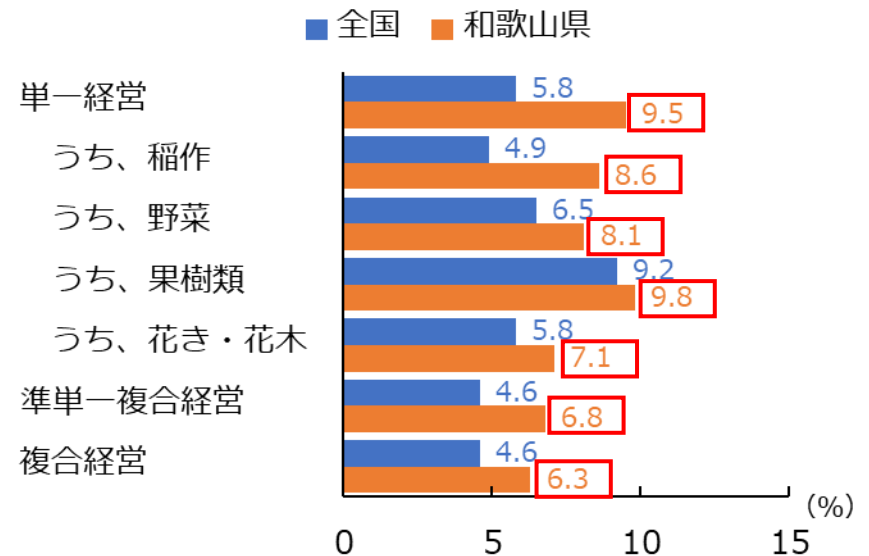
- 女性経営主経営体数の割合を農業経営組織別にみると、単一経営（果樹類）が他に比べ高く、複合経営が低い。
- 全国に比べ、どの農業経営組織区分においても女性経営主経営体数の割合が高い。

図12 農業経営組織別男女別経営主別農業経営体数の割合
（2020年、個人経営体、和歌山県）



注：「販売なし」の経営体を除く。

図13 農業経営組織別農業経営体数に占める女性経営主の割合
（2020年、個人経営体、全国・和歌山県）



注：「販売なし」の経営体を除く。

女性経営方針決定参画者の現状（１）

－ 女性の参画者の割合は全国に比べ高い －

- 2020年の女性世帯員数に占める女性の経営方針決定参画者数の割合は24.4%で全国に比べ高い。
- 農業経営組織別にみると、全国に比べ、単一経営（果樹類）が高く、単一経営（稲作、野菜）が低い。

図14 男女別世帯員数に占める男女別経営方針決定参画者数の割合（2020年、個人経営体、全国・和歌山県）

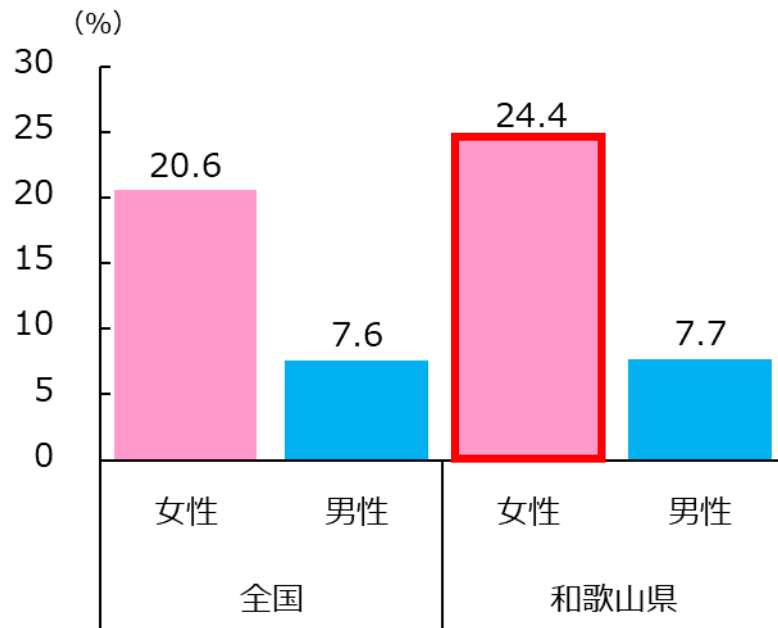
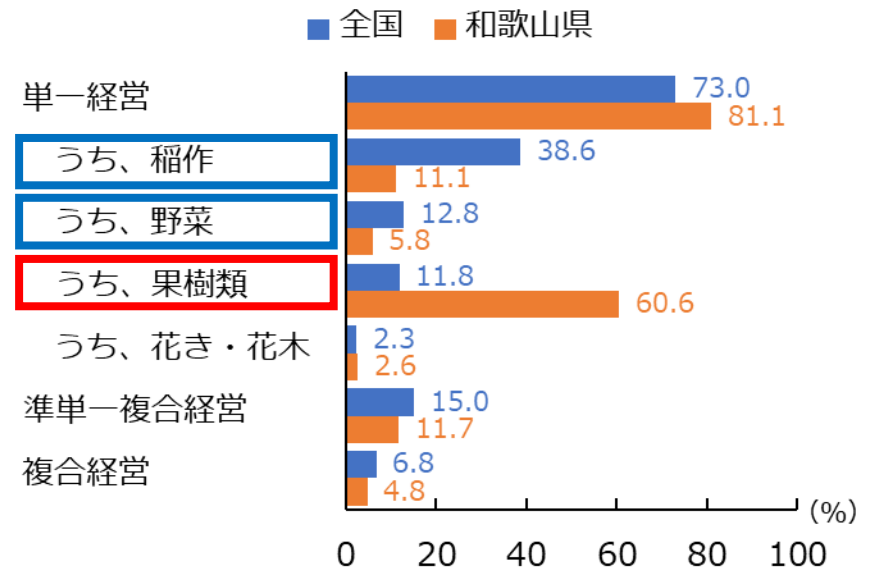


図15 男女別農業経営組織別経営方針決定参画者数に占める女性の割合（2020年、個人経営体、全国・和歌山県）



注：「販売なし」の経営体を除く。

用語の解説

経営方針決定参画者：過去1年間に経営主とともに農業経営に関する、生産品目・畜種の決定、規模の決定、出荷先の決定、資金調達、機械・施設などへの投資、農地借入の決定、農作業受託の決定、雇用の決定・管理に参画した経営主以外の世帯員をいう。

女性経営方針決定参画者の現状（２）

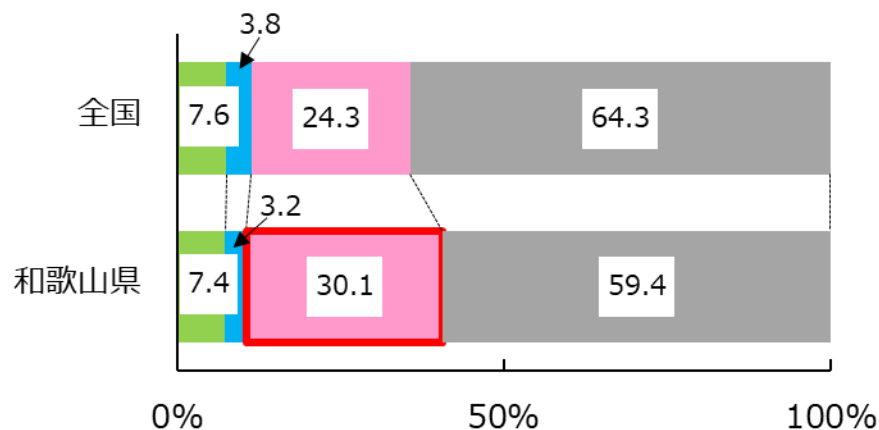
－ 女性の参画者の割合は全国に比べ高い －

- 男女別経営主経営体の経営方針決定参画者数の割合をみると、男性経営主の経営体では、「女性の経営方針決定参画者のみ」の割合が全国に比べ高い。
- 女性経営主の経営体では、「経営方針決定参画者がいない」の割合が全国に比べ高い。

図16 経営方針決定参画者有無別経営体数の割合（2020年、全国・和歌山県）

男性経営主の経営体

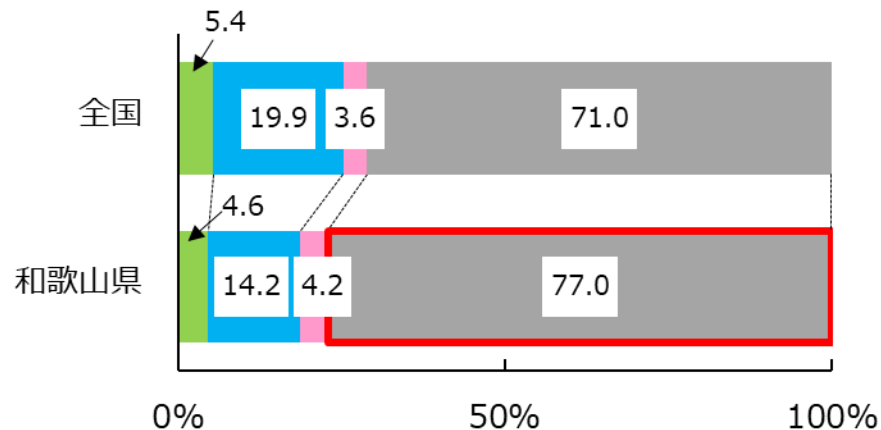
- 男女の経営方針決定参画者がいる ■ 男性の経営方針決定参画者のみ
- 女性の経営方針決定参画者のみ ■ 経営方針決定参画者がいない



注：単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない。

女性経営主の経営体

- 男女の経営方針決定参画者がいる ■ 男性の経営方針決定参画者のみ
- 女性の経営方針決定参画者のみ ■ 経営方針決定参画者がいない



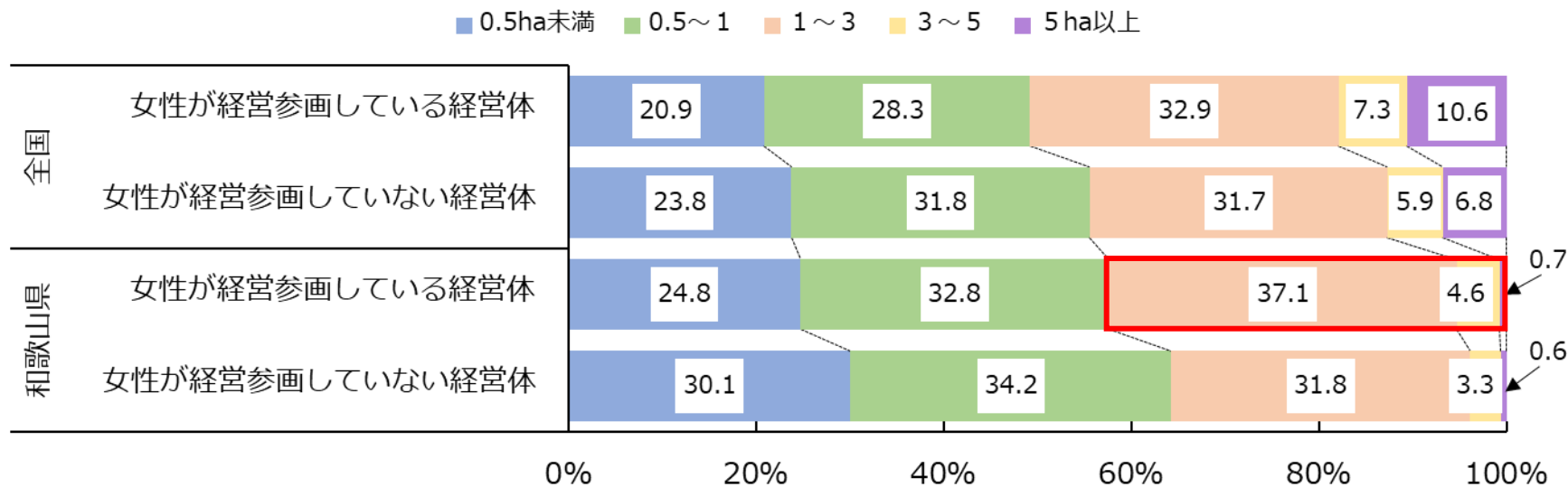
注：単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない。

女性経営参画経営体の特徴（１）

－ 経営耕地面積規模が大きい －

- 2020年の経営耕地面積規模別にみると、全国に比べ面積規模は小さいが、和歌山県では、女性が経営参画している経営体の方が、参画していない経営体に比べ「1 ha以上」の経営体数の割合が高い。

図17 女性経営参画別経営耕地面積規模別経営体数の割合（2020年、個人経営体、全国・和歌山県）



注：「0.5ha未満」には「経営耕地なし」を含む。

用語の解説

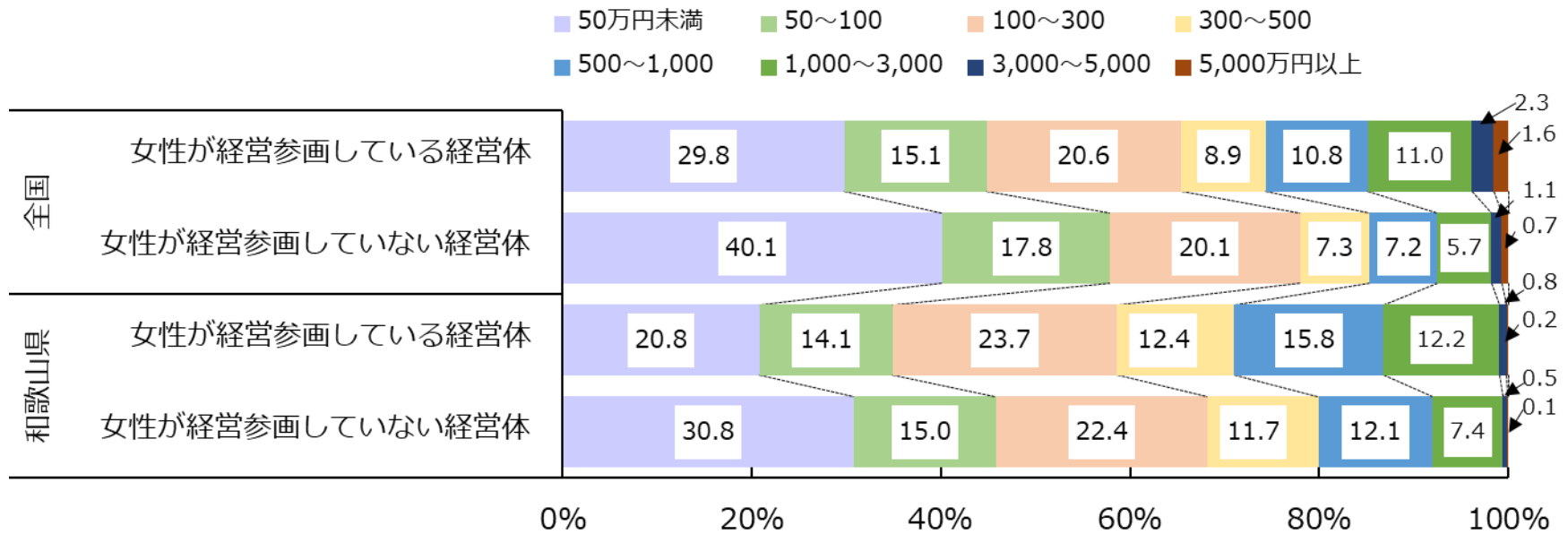
女性経営参画経営体：女性の経営主、または女性の経営方針決定参画者がいる経営体とした。

女性経営参画経営体の特徴（２）

－ 販売金額規模が大きい －

- 農産物販売金額規模別にみると、女性が経営参画している経営体の方が、参画していない経営体に比べ販売金額規模が大きい。

図18 女性経営参画別農産物販売金額規模別経営体数の割合（2020年、個人経営体、全国・和歌山県）



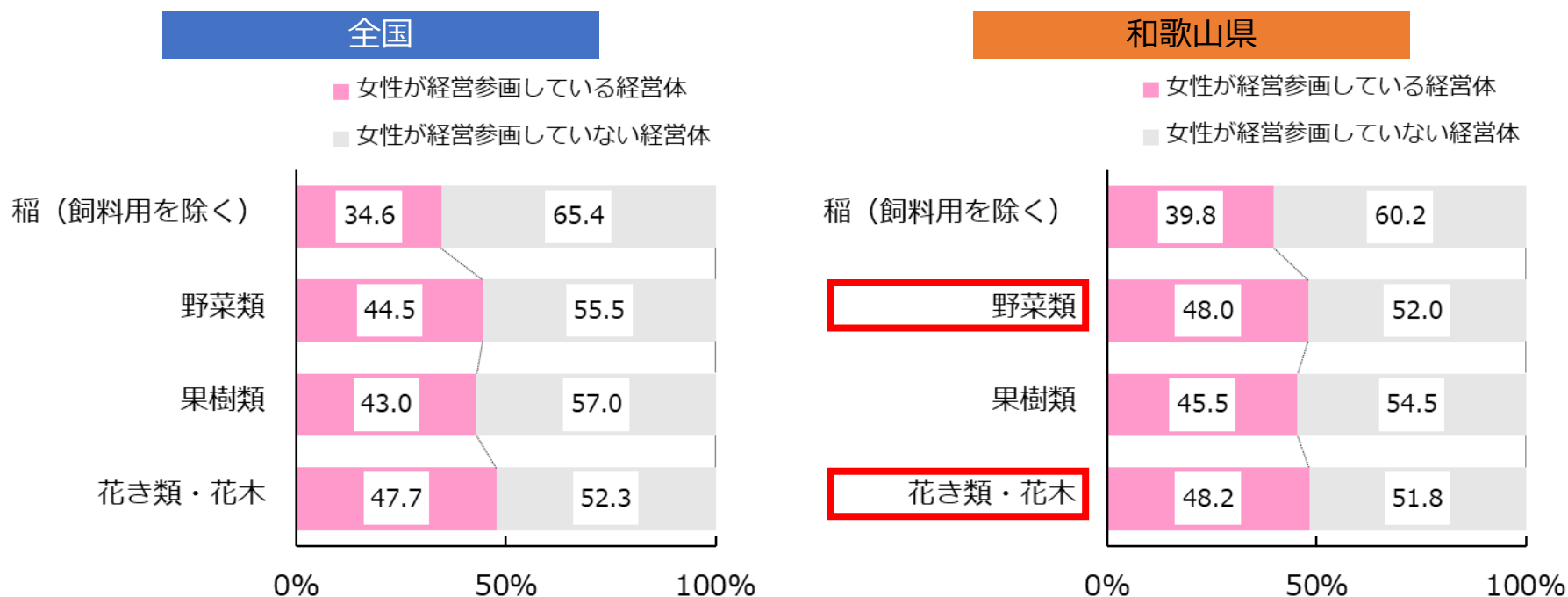
- 注：1 「50万円未満」には「販売なし」を含む。
 2 単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない。

女性経営参画経営体の特徴（３）

— 「花き類・花木」・「野菜類」作付経営体の女性参画割合が高い —

- 販売目的作物類別にみると、和歌山県では「花き類・花木」や「野菜類」で女性が経営参画している経営体の割合が高い。
- 全国に比べ、各作物類別とも女性が経営参画している経営体の割合が高い。

図19 女性経営参画別販売目的作物類別作付（栽培）経営体数の割合（2020年、個人経営体）

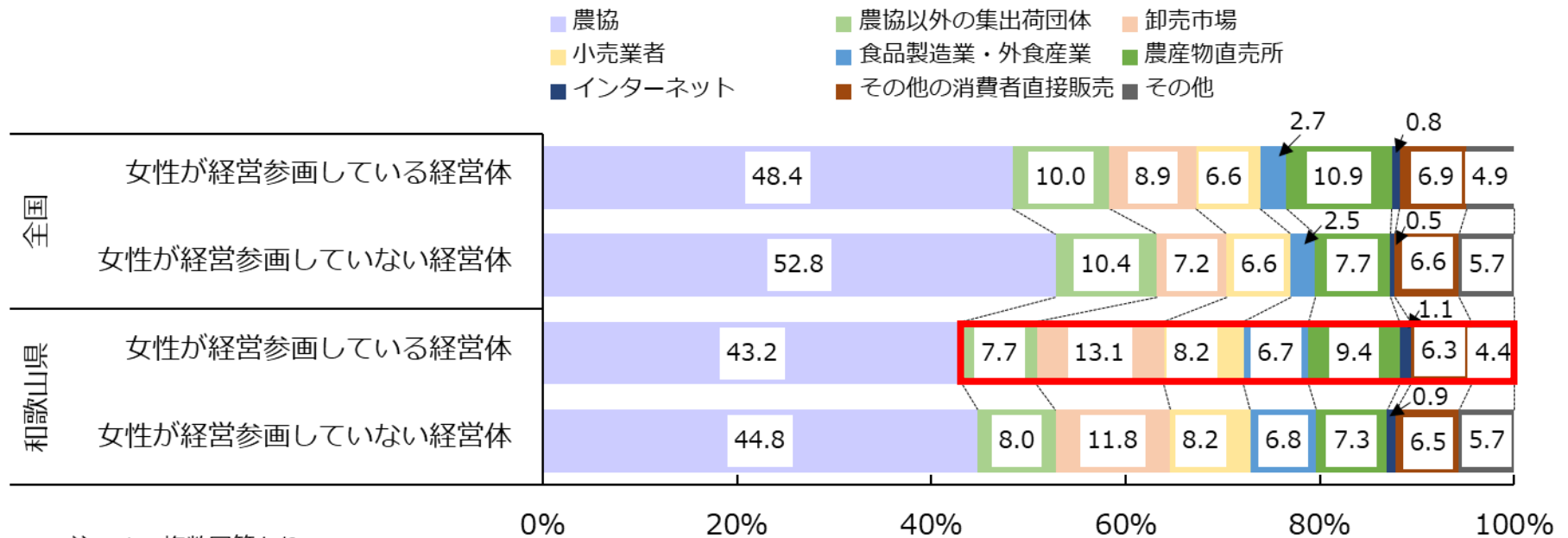


女性経営参画経営体の特徴（４）

－ 農協以外へ出荷する割合が高い －

- 農産物出荷先別にみると、和歌山県では、女性が経営参画している経営体と参画していない経営体との差はほとんど見られない。
- 全国に比べ農協以外へ出荷している割合が高く、「卸売市場」、「小売業者」及び「食品製造業・外食産業」など販路を拡大している。

図20 女性経営参画別農産物出荷先別経営体数の割合（2020年、個人経営体、全国・和歌山県）



注：1 複数回答あり。

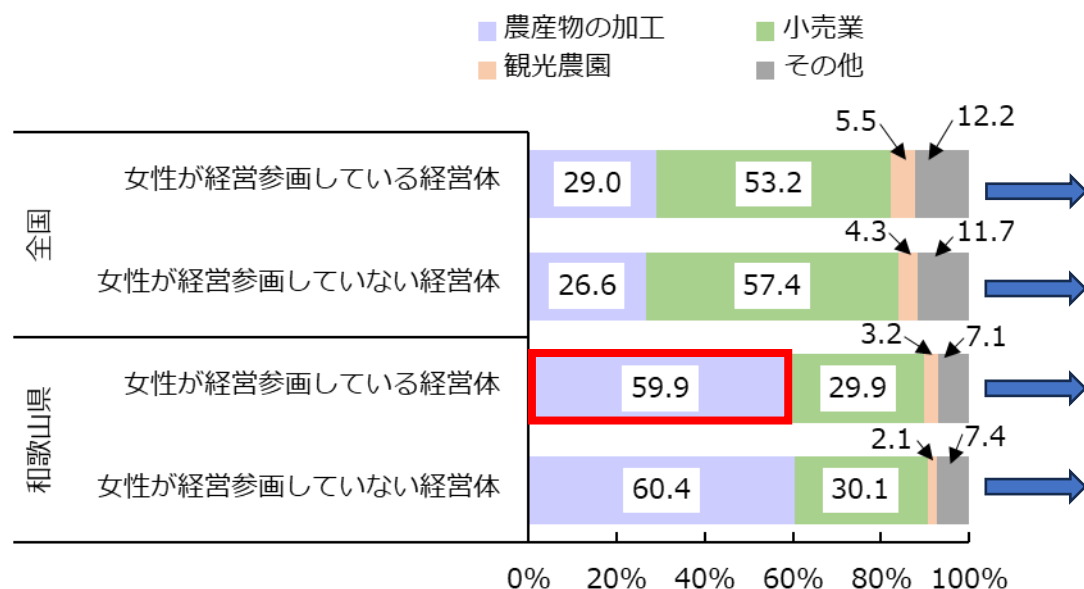
2 単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない。

女性経営参画経営体の特徴（５）

－全国に比べ「農産物の加工」の割合が高い－

- 農業生産関連事業に取り組んでいる経営体の事業種類別にみると、和歌山県では女性が経営参画している経営体と参画していない経営体との差はほとんど見られないが、全国に比べ「農産物の加工」を行っている経営体数の割合がかなり高い。

図21 女性経営参画別農業生産関連事業種類別経営体数の割合
(2020年、個人経営体、全国・和歌山県)



注：1 複数回答あり。
2 単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない。

表5 農業生産関連事業種類「その他」の内訳

単位：%

貸農園・体験農園等	農家民宿	農家レストラン	海外への輸出	再生可能エネルギー発電	その他
1.4	1.4	0.9	0.3	1.5	6.8
1.2	1.1	0.8	0.2	1.3	7.0
0.6	0.4	0.4	0.3	1.8	3.6
0.7	0.6	0.2	0.2	1.6	4.1

用語の解説

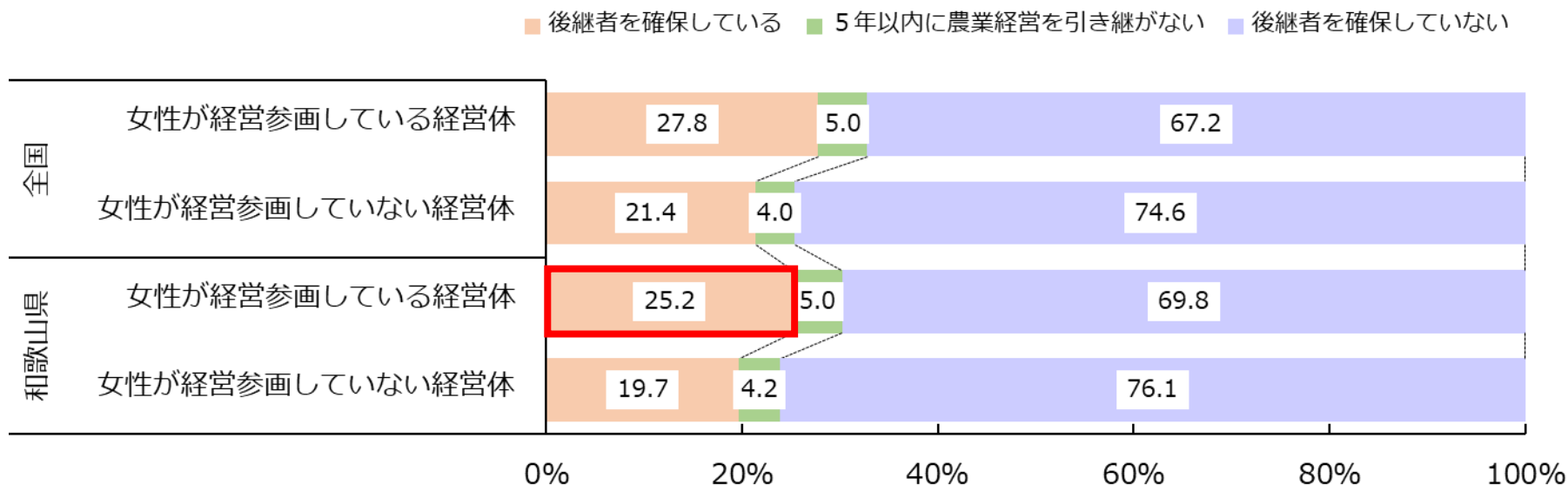
農業生産関連事業： 「農産物の加工」、「消費者に直接販売」、「小売業」、「観光農園」、「貸農園・体験農園」、「農家民宿」、「農家レストラン」、「海外への輸出」、「再生可能エネルギー発電」など農業生産に関連した事業をいう。

女性経営参画経営体の特徴（6）

－ 全国に比べ後継者を確保している割合が低い －

- 後継者の確保状況別にみると、和歌山県では、女性が経営参画している経営体の方が、参画していない経営体に比べ「後継者を確保している」経営体数の割合は高いが、全国に比べると低い。

図22 女性経営参画別後継者確保状況別経営体数の割合（2020年、個人経営体、全国・和歌山県）



用語の解説

後継者：5年以内に農業経営を引き継ぐ後継者（予定者を含む。）をいう。

農業における女性活躍に関する意識・意向調査結果

(令和4年度実施、農林水産省大臣官房統計部 令和5年7月31日公表)

本調査は、今後の我が国の農業における女性活躍の推進施策の更なる検討を行うための基礎資料とすることを目的とし、全国の個人経営体の経営主及びその配偶者の女性農業者4,000人、男性農業者4,000人（共に65歳未満で自営農業に年間150日以上従事している者）及び団体経営体1,500経営体を対象として、令和4年12月中旬から令和5年1月下旬にかけて、農業における女性活躍に関する意識・意向について調査を実施し、個人経営体の女性農業者1,693人及び男性農業者1,842人並びに団体経営体811経営体から回答を得た結果です。

その内、**個人経営体**の主な結果についてご紹介します。

※公表資料・統計表の詳細は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「農林水産行政等に対する意識・意向調査」でご覧いただけます。

<https://www.maff.go.jp/j/finding/mind/>

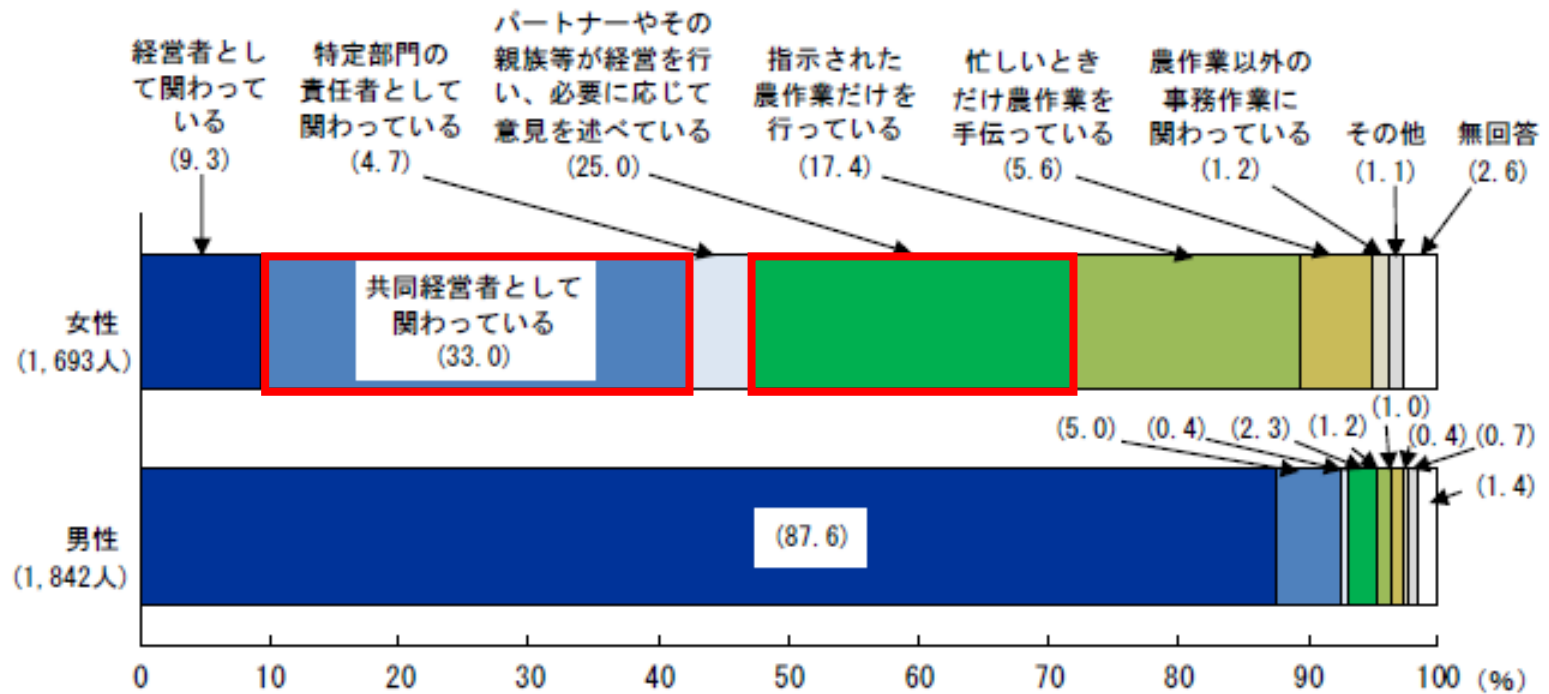


農業における女性活躍に関する意識・意向調査結果 (令和4年度)

現在の農業経営への関わり方

- 女性農業者で最も高かったのは「共同経営者として関わっている」が全体の33.0%。
- 次いで「パートナーやその親族等が経営を行い、必要に応じて意見を述べている」が25.0%。

図23 【意識・意向調査】現在の農業経営への関わり方



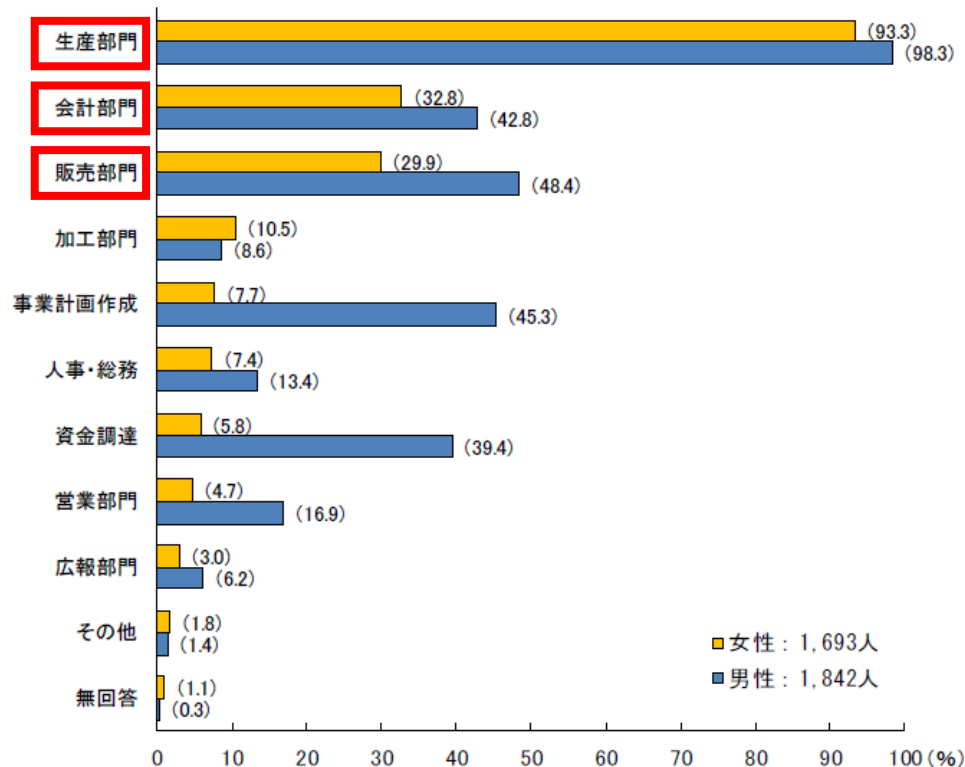
注： 表示単位未満を四捨五入したため、内訳の計が 100.0% とならない場合がある（以下同じ。）。

農業における女性活躍に関する意識・意向調査結果 (令和4年度)

現在の農業経営における部門別の関わり方

- 女性農業者で最も高かったのは、「生産部門」で93.3%。
- 次いで「会計部門」が32.8%、「販売部門」が29.9%。

図24 【意識・意向調査】現在の農業における部門別の関わり方（複数回答）



農業における女性活躍に関する意識・意向調査結果 (令和4年度)

女性農業者の研修会及び農業者グループの活動への参加状況

- 【図25】 行政や農協等の農業関係機関が主催する研修会への参加状況について、「参加したことがある」が35.6%、「参加したことがない」が58.8%。
- 【図26】 地域の農業者グループの活動への参加状況については、「参加している」が25.8%、「参加していない」が71.1%。

図25 【意識・意向調査】女性農業者の研修会への参加状況

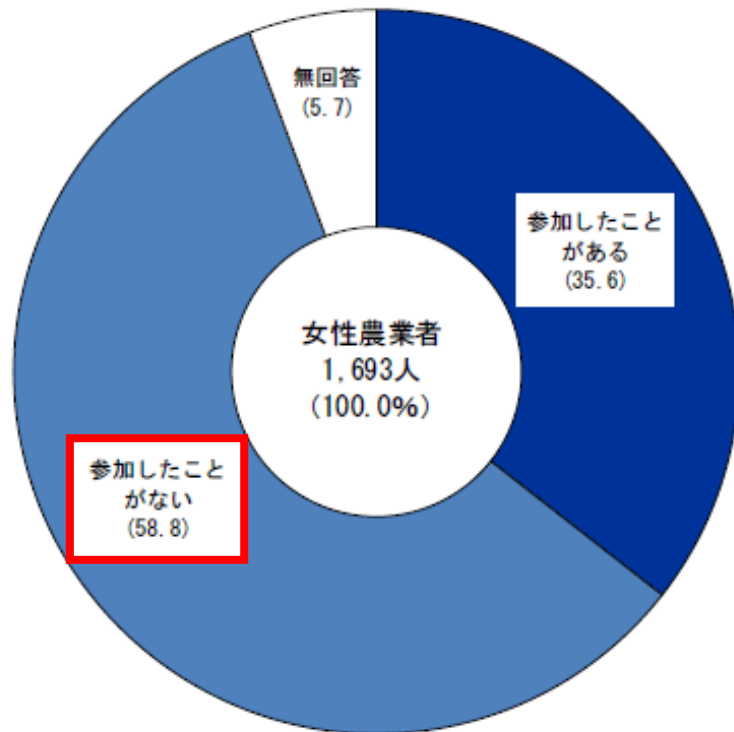
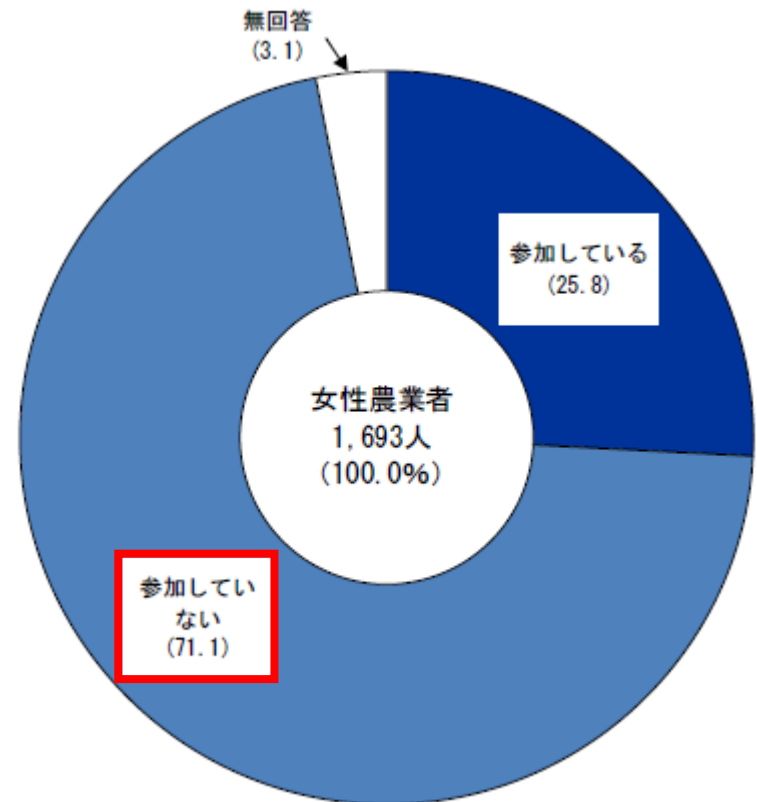


図26 【意識・意向調査】女性農業者の農業者グループの活動への参加状況



農業における女性活躍に関する意識・意向調査結果 (令和4年度)

女性農業者の研修会や農業者グループの活動への参加のしやすさ・参加しやすくするための有効な取組

- 【図27】 研修会や地域の農業者グループの活動への参加のしやすさについては、「参加したいと思わない」が31.4%と最も高く、次いで「参加しづらい」が28.4%、「参加しやすい」が23.6%。
- 【図28】 参加しやすくするための有効な取組については、「行政からの声かけ」が43.3%と最も高く、次いで「グループ活動や研修参加中の農作業サポート」が37.6%、「男性に対する女性活躍の理解促進」が25.7%

図27 【意識・意向調査】女性農業者の研修会や農業者グループの活動への参加のしやすさ

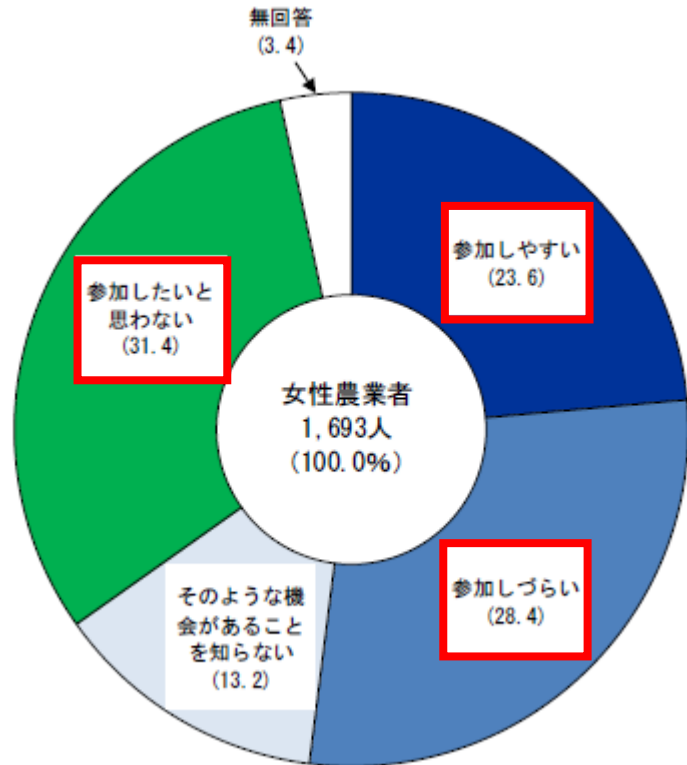
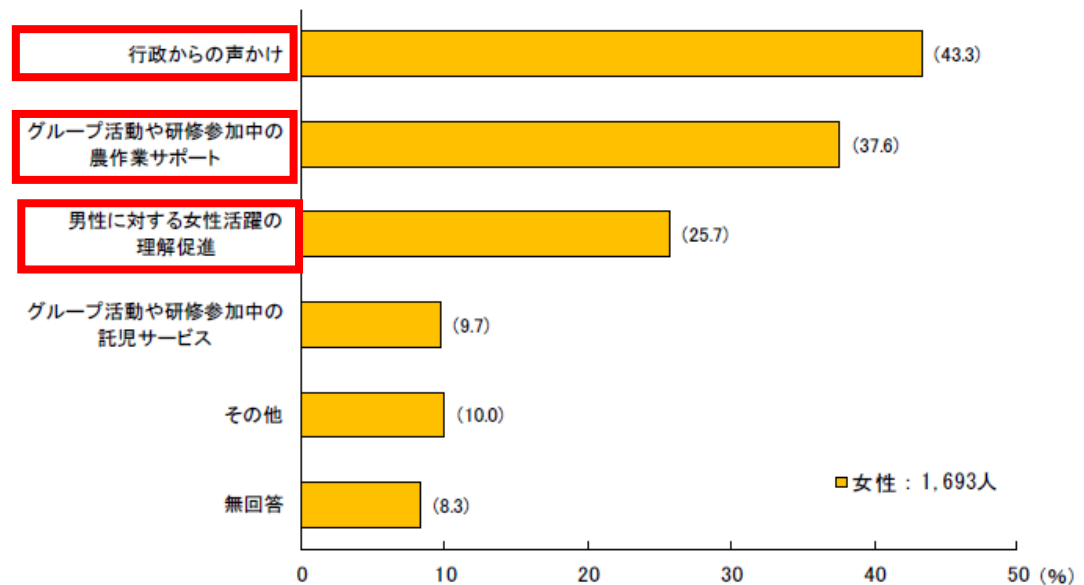


図28 【意識・意向調査】女性農業者の研修会や農業者グループの活動に参加しやすくするための有効な取組（複数回答）

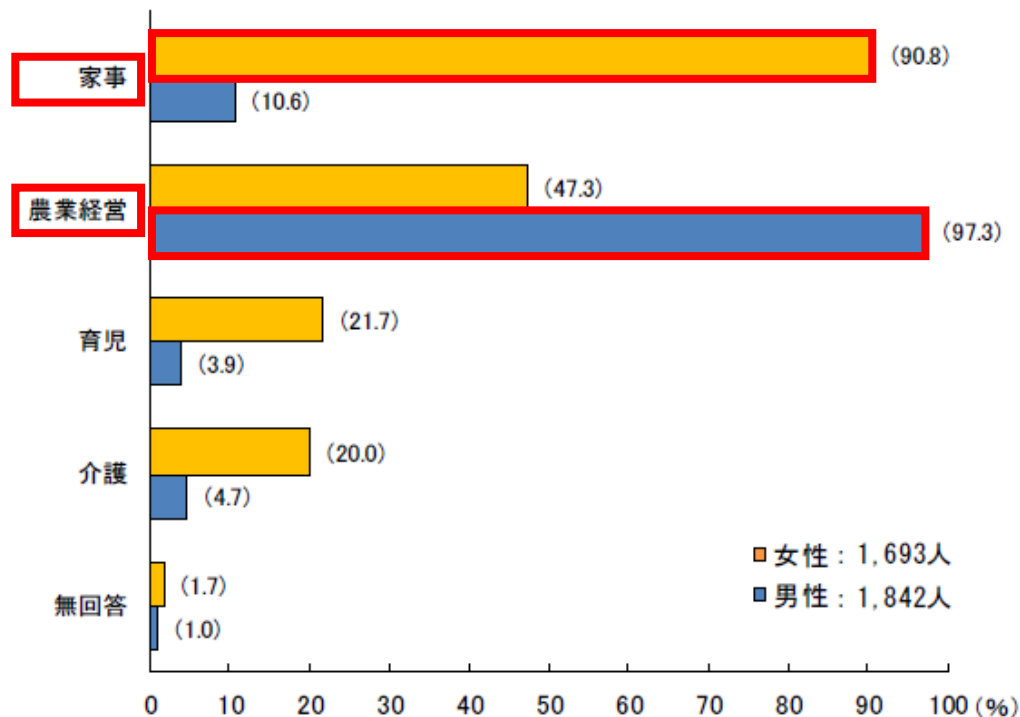


農業における女性活躍に関する意識・意向調査結果 (令和4年度)

農業経営と家事・育児・介護の分担に関して、主に担当しているもの

- 女性農業者は「家事」が全体の90.8%と最も高く、次いで「農業経営」が47.3%。
- 男性農業者は「農業経営」が全体の97.3%と最も高く、次いで「家事」が10.6%。

図29 【意識・意向調査】農業経営と家事・育児・介護の分担に関して、主に担当しているもの（複数回答）

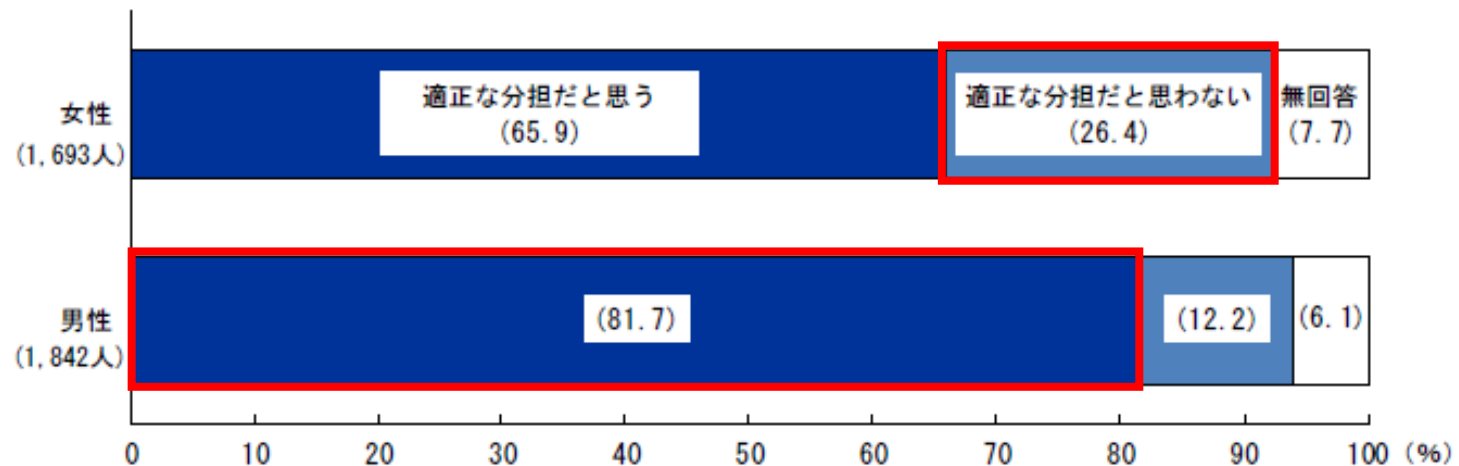


農業における女性活躍に関する意識・意向調査結果 (令和4年度)

農業経営と家事・育児・介護との分担に関して、パートナーとの分担

- 女性農業者は「適正な分担だと思う」が 65.9%、「適正な分担だと思わない」が26.4%。
- 男性農業者は「適正な分担だと思う」が 81.7%、「適正な分担だと思わない」が12.2%。

図30 【意識・意向調査】農業経営と家事・育児・介護との分担に関して、パートナーとの分担

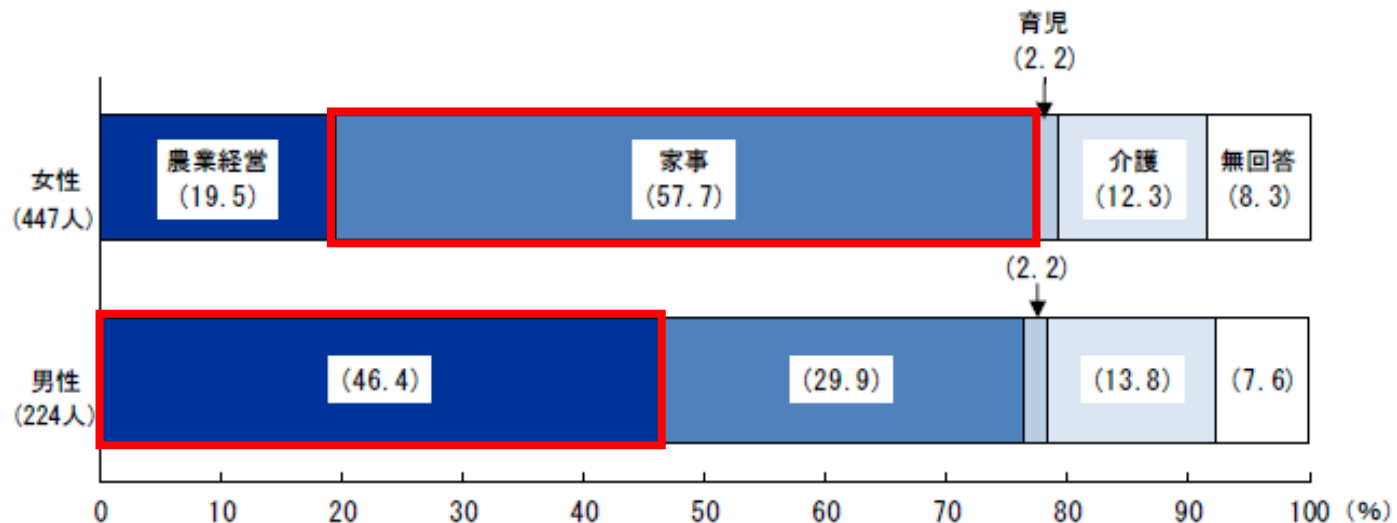


農業における女性活躍に関する意識・意向調査結果 (令和4年度)

農業経営と家事・育児・介護との分担に関して、自身の分担において最も減らしたいもの

- 前スライドで「適正な分担だと思わない」と回答した女性農業者が、自身の分担において最も減らしたいものについては、「家事」が全体の57.7%と最も高く、次いで「農業経営」が19.5%。
- 前スライドで「適正な分担だと思わない」と回答した男性農業者が、自身の分担において最も減らしたいものについては、「農業経営」が全体の46.4%と最も高く、次いで「家事」が29.9%。

図31 【意識・意向調査】農業経営と家事・育児・介護との分担に関して、自身の分担において最も減らしたいもの

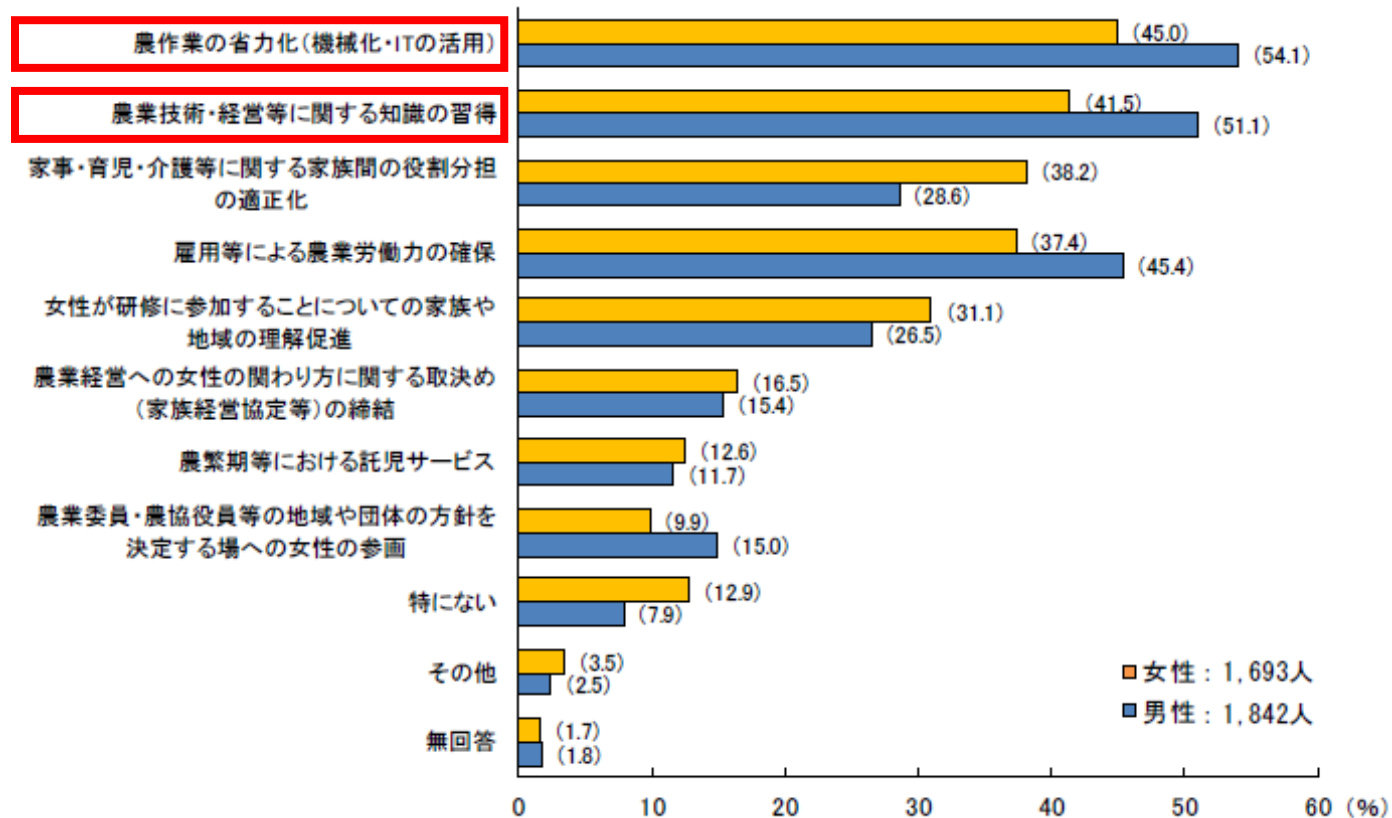


農業における女性活躍に関する意識・意向調査結果 (令和4年度)

女性がバランスの取れた農業経営への関わり方を実現するための有効な取組

- 女性農業者では「農作業の省力化（機械化・ITの活用）」が全体の45.0%と最も高く、次いで「農業技術・経営等に関する知識の習得」が41.5%。
- 男性農業者では「農作業の省力化（機械化・ITの活用）」が全体の54.1%と最も高く、次いで「農業技術・経営等に関する知識の習得」が51.1%。

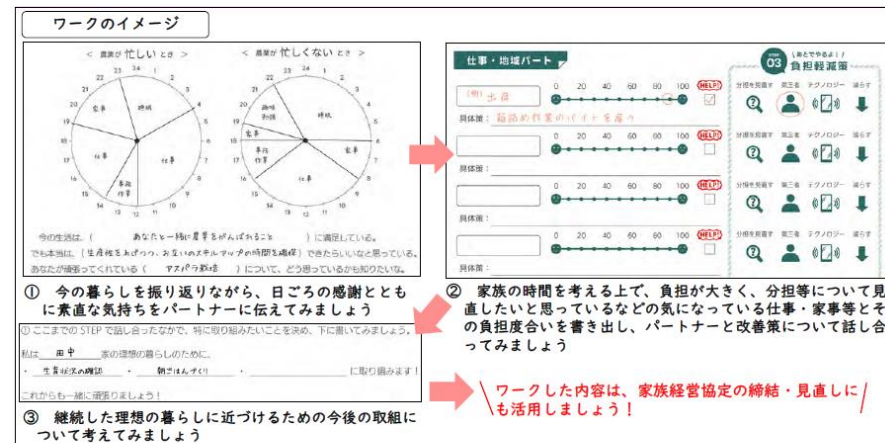
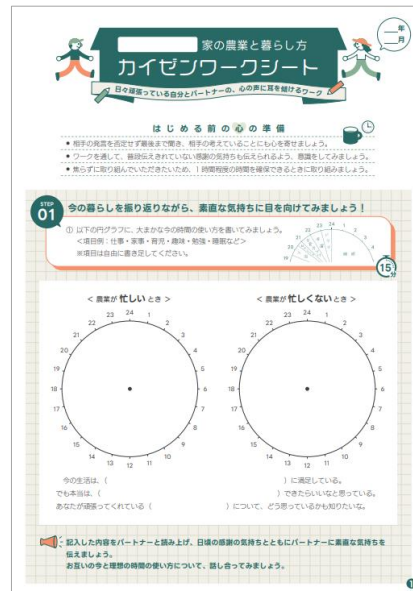
図32 【意識・意向調査】女性がバランスの取れた農業経営への関わり方を実現するための有効な取組（複数回答）



農業と暮らし方カイゼンワークシート

(株式会社マイファーム農林水産省 補助事業 女性が変わる未来の農業推進事業)

- 家族農業経営は、家族だからこそその良い点がたくさんありますが、経営と生活の境目が明確でなく、各世帯員の役割や労働時間、労働報酬などの就業条件があいまいになりやすく、そこから様々な不満やストレスが生まれがちです。
- 経営の転換・拡大、子育て・介護など生活の変化、家族個々のスキルアップや休息の必要性など、経営と生活は日々変化しています。
- このワークシートは、主に夫婦間の「仕事、家事・子育て」等の分担状況を見える化し、今の状況にあったより良い分担に見直すためのツールです。
- 日々がんばっているお互いの姿と、普段は聞きづらいパートナーの声に耳を傾け、経営と生活を見直してみませんか。



こんなときの活用がおすすめ！

- ・農繁期が終わって次の作付け計画を検討するとき
- ・決算が終わり、今の経営を見直すとき
- ・親から経営を継承することになったとき
- ・お子さんが保育園・小学校に上がる時 など

ワークシートを実施してみた声

- ・ワークシートは、自分の理想の暮らしを相手に伝えるのにとても分かりやすいと思いました。
- ・改めて向かい合ってこのような内容を話し合うのは少し恥ずかしく感じましたが、良い機会になると思いました。
- ・業務の細卸や話し合いの良い機会になった。

ワークシートの
ダウンロードはこちら

https://myfarm.co.jp/women/next_leader/#kaizen-part



－ おわりに －

和歌山県においても、全国と同様に、個人経営体数の減少や高齢化等により女性農業従事者数は減少していますが、農業従事者数に占める女性の割合や農業経営に参画している女性の割合が全国に比べ高くなっています。

また、女性が農業経営に参画している経営体は、経営規模が大きく、経営の多角化が図られている経営体の割合が高い傾向が見られます。

女性農業者は地域農業の重要な担い手であり、今後の地域農業の発展や地域活性化のためには女性農業者の活躍を更に推進する必要があります。

そのためには、家庭内で家事、育児、介護等を分担し、女性がこれまで以上に農業に従事しやすいような環境を整備することが不可欠です。